

4月29日 御在所岳

山下 隆

山名	御在所岳		山行名	桃源郷アカヤシオ	
ルート	武平峠⇔御在所岳⇔国見峠⇔国見山				
山行日	2023. 4. 29(土)		天候	曇り	
参加者	リーダー： 山下 隆 男性：西川洋、宮内 女性：伊藤典子、蒲田、玉井		サブリーダー：小川弘二 合計： 7 名		
ルート概略図	N ↑				
		コースタイム			
		地名	時：分	地名 y	時：分
		京田辺	発 6:15	武平峠	着 13:50
		(一部高速)			発
		武平峠 P	着 8:30	武平峠 P	着 14:00
			発 8:40		発 14:10
		御在所岳	着 10:12	(一部高速)	着
			発 10:20		発
		国見山	着 11:25	京田辺	着 16:30
			発 11:50		発
		御在所岳	着 12:40	歩数 1.5 万歩	
			発 12:50		
山行報告					
<p>全山がピンク色に染まるアカヤシオに久しぶりに会いたくなり計画した。当初は朝明溪谷から ハライド→ヤシオ尾根→キノコ岩の周回コースを計画していた。ところが、今年の春は桜にはじまり ほとんどの草花は10日ほど早くなってしまった。「かなび」に案内してしまったから、1週間早めた結果、一部の方にはご迷惑を掛けてしまった。それでも、ヤマレコの報告を見ると変更した日時では1000m以下ではアカヤシオは終わっているとのことなので、SLと相談しコースを変更し実施に至った。その上、当日は天気不安定となり、雨も覚悟で前日に決行をきめた。武平峠から御在所岳のコースは15年ぶりなので、登山道の様子はすっかり忘却の彼方にあり、気持ちは全くの初めてのコース。ところどころにアルプスを思わせる花崗岩の岩場があり登山心を刺激してくれる。全員、ストックをしまいクリアする。中道とおなじく、短い崩落場所も2か所あるもマキミチも出来ているので危険は少ない。お転婆おばさん・おじさんは鎖を使って直登を選ぶ。下りでは 花崗岩のジャリ道も一部あるので、軽アイゼンがあると助かると思ったが、尻餅をつきそうになることはあるも、全員尻餅ゼロで 完走できた。</p> <p>目的のアカヤシオは1212mの御在所山頂周辺や御在所岳から国見山のコースには満開のアカヤシオが歓迎してくれて皆で感激した。心配だった天気は 日中は曇りで、霧の中ゆえ遠景は望めなかったが、皆の頬に落ちた雨粒は下山時に全部で20個位か！ 京田辺市に着いた時に小雨に会う。御在所岳周辺に詳しい SL にはコース変更や現地での先導役ですっかりお世話になりありがとうございました。今日の楽しい山行の幸運に感謝の一日でした。欲を言えば、全山がアカヤシオで燃える景色に出会えたら！</p>					
ヒヤリハット ナシ					

<感想文>

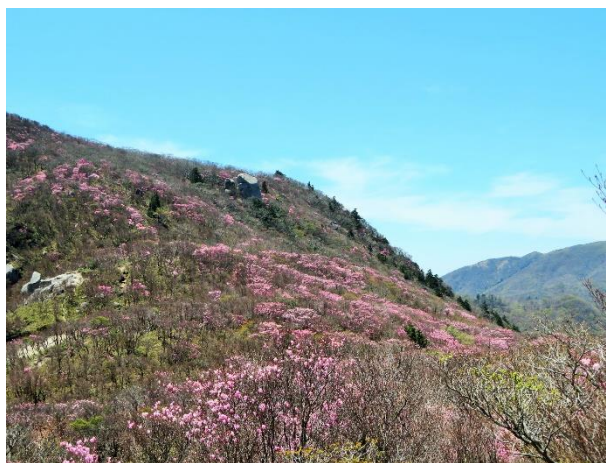
伊藤典子

絶対途中で雨になるだろうと家を出るときから合羽のズボン着用で臨んだ登山でしたが、それがお守りとなったのか、下山するまで雨には合わずに済んでラッキーでした。第一の目的であるアカヤシオもほぼ満開といえる箇所がいくつかあって満喫できました。御在所岳の奇岩の数々に感動し、久しぶりに岩登りの面白さを体験し、刺激的でした。晴れには恵まれませんでしたが、辺り一面が真っ白のホワイトアウトモドキも味わいました。CL様、SL様、ご一緒した皆様、楽しい充実した時間をありがとうございました。2回目デビューのヤママップによると5時間24分、距離6.1km、ややゆっくりペースとなっていました。

一口感想分

小川 弘二

例年であればGW明けが満開となるが今年は2週間も早く満開が訪れたようです。残念ながら予定より1週間前倒して実施して頂いたが、赤ヤシオはチラホラでした。又、ガスの歓迎を受け、ホワイトアウト一步手前の状態でしたが、何とか雨に見舞われず山行できたことはラッキーでした。以前に撮った写真ですが、満開の状態を想像してみてください。



<自然に湧き出た五・七・五 >

山下 隆

- アカヤシオ 貴方の色に 染まりたい
- アカヤシオ 貴方の色は なごみいろ
- ときめきは のこりヤシオの 国見山
- オニギリを ほうばる目先に アカヤシオ
- ヒサシブリダヨ ヤシオさん 元気な姿 涙ぐむ
- 五年振り 会えたヤシオに 胸騒ぐ
- 岩かげに 出番まだかと イワカガミ
- 色濃くし こおちらも向けよと ミツバツツジ

